

いろとりどり



アメニティ美幌指定居宅介護支援事業所 令和5年12月発行

昨年度に引き続き、今年度も当事業所の広報誌「いろとりどり」を発行いたしました。今回の広報誌のテーマは平成25年から令和元年までの「介護者勉強会」の取り組みをご紹介します。令和元年までは毎年1回、様々なテーマをもとにご利用者様・ご家族様に向けて、介護者勉強会を開催しておりました。現在は新型コロナウイルス感染予防のため、介護者勉強会は中止しておりますが、皆様に当事業所の活動をご紹介しますさせていただきたく、作成いたしました。また、令和5年5月より入職いたしました職員もご紹介しておりますので、ご覧いただけると幸いです。

当事業所 管理者 佐藤より

日頃より、私たち介護支援専門員(ケアマネジャー)へのご理解・ご協力をいただいておりますことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、来年2024年度は医療(診療報酬)・介護(介護報酬)・障がい(障がい福祉サービス等報酬)の「トリプル改定」を控えております。また、2025年には団塊世代の方々が75歳以上の後期高齢者となり、社会保険費の負担増や働き手不足などが問題となる「2025年問題」が予測されております。今後日本は世界に類をみない超高齢化社会となり、その問題は医療・介護・年金・人手不足等、多岐に及び、美幌町にも同様に訪れます。当然ながら国もこれらの問題に対して社会全体に及ぶ様々な対策を講じ、推進しているところであります。しかしながら、この難局に対して特に大切な事は、皆様や私たち関係者が我が事と考え、問題に向き合う意識をもつ事と言えます。私たちはその皆様の意識や想いに寄り添い、共に考え、これからも良き相談相手として、またパートナーとして支援させていただきたいと存じます。

第1回目

平成25年11月9日(土)開催



『オムツと入浴用品の選び方・使い方』

福祉用具専門相談員のご協力のもと、オムツの選び方や当て方、自宅での入浴を想定した介助方法や福祉用具について講義を行ないました。また、職員がモデルとなり、オムツの当て方の手順を確認したり、入浴用品もご紹介いたしました。初めての勉強会でしたが20名の方にご参加いただきました。



第2回目

平成26年11月29日(土)開催

『認知症の理解と接し方』



認知症の理解と接し方についてをテーマに認知症サポーター養成講座も兼ねて開催いたしました。認知症サポーターとは認知症を理解し、認知症の方とその家族を温かい目で見守る【応援者】です。なお、講座の後は参加された方と職員で座談会も行ない、有意義な時間となりました。



認知症サポーターの証として、サポーターカードやオレンジリング等が渡されます。※オレンジリングが全国一律で配布されていましたが、令和3年4月以降はサポーターカードが渡されます。(従来通り、オレンジリングを配布する市町村・都道府県もあります。)



第3回目

平成27年11月21日(土)開催



『高齢者の食事について』

介護老人保健施設アメニティ美幌の管理栄養士より、高齢者の食事について、調理の工夫やとろみ剤の種類などをご紹介いたしました。食事を介助する側、される側の気持ちに寄り添うことを目的に、参加された方と職員とともに、実際に食事介助の体験や様々な食事形態の試食も行ないました。



第4回目

平成28年11月19日(土)開催



『感染症～インフルエンザとノロウイルスについて』

数ある感染症の中から、特に冬季に流行することが多い、インフルエンザとノロウイルスに焦点をあて、当事業所職員が講師となり感染症の理解や特徴、感染予防について講義を行ないました。講義の後は参加された方に手洗いを実践していただき、ブラックライトを使用して洗い残しをチェックしました。意外と洗い残しがあることに気づき、日頃の手洗いを振り返る機会となりました。

ブラックライトを使用したチェックとは？

専用のクリームをつけることで、ボックスに手を入れると洗えていない部分が青く光る仕組みになっています。



第5回目

平成29年11月18日(土)開催



『近隣施設の概要報告・町内の社会資源の活用方法』

当事業所職員が講師となり、近隣施設の概要や町内の社会資源の活用方法について講義を行ないました。ご利用者様・ご家族様に幅広い選択肢をお伝えできるよう、各施設の特徴や料金などの説明、介護保険以外の美幌町のサービスについてもご紹介いたしました。また、講義の途中に簡単なゲームを取り入れたことで和やかな雰囲気になりました。この勉強会では過去最多の32名の方にご参加いただいております。



第6回目

平成30年11月17日(土)開催



『リハビリの必要性と理解、介護者のための腰痛・膝痛予防体操』

介護老人保健施設アメニティ美幌リハビリテーション科より、リハビリの流れや目標設定、リハビリを目的とした介護老人保健施設の入所・在宅支援などの講義を行ないました。講義の後は訪問看護ステーション美幌すずらんより、介護者のための腰痛・膝痛予防をご紹介し、参加された方と一緒にストレッチや体操を行ないました。体を動かす勉強会は新鮮で満足のいくお言葉をたくさんいただき、私たち職員も楽しく学ぶことができました。



第7回目

令和元年11月16日(土)開催



『我が町の防災対策・Doはぐ〜避難訓練ゲーム』

美幌町役場の出前講座にて、我が町の防災対策をテーマに担当者より講義をしていただきました。また、参加された方と職員でグループを編成し、避難所訓練ゲーム〜Doはぐ〜も体験しました。避難所訓練ゲームは北海道ならではの寒冷地要素を取り入れた内容で、避難所の運営をグループで話し合う防災のカードゲームです。訪れる避難者や届いた物資をどのように対応するか意見を出し合い、私たち自身も防災対策について改めて考える機会となりました。



まとめ



いかがでしたでしょうか？平成25年より開始し、計7回介護者勉強会を開催させていただきました。私たちが勉強会を開催できるのは、ご利用者様・ご家族様との出会い、そしてこれまでにご参加・ご協力いただきました皆様のおかげです。この機会をお借りして感謝申し上げます。今後とも、ご利用者様・ご家族様の手助けができるよう、介護者勉強会の開催を検討して参りますが、新型コロナウイルス等の感染状況による判断となりますことをご理解いただければと存じます。

職員紹介

介護支援専門員

いわこし ひろみ
岩腰 広美



令和5年5月1日より入職した職員を
ご紹介させていただきます！！



* 趣味・特技 *

焚き火

* 座右の銘・好きな言葉 *

笑う門には福来る

* 心がけていること *

周りへの感謝、笑顔

* 皆様へメッセージ *

まだ不慣れな面もありますが、精一杯頑張ります！！



**今後とも私たちアムニティ美幌指定居宅介護支援
事業所をよろしくお願い致します！**



※現在、在籍人数は6名ですが1名休職中です。



アメニティ美幌指定居宅介護支援事業所

介護老人保健施設アメニティ美幌の正面玄関より、左手に事業所の玄関がございます。ご相談などありましたら、事前にご連絡の上、お気軽にご来所ください。

訪問看護ステーション美幌すずらんの事業所と併設されています。



左側は事業所の写真です！
仕事に集中しつつ、
時には和気あい
あいと(^o^)/



編集後記

最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。介護者勉強会は当事業所が担当させていただいているご利用者様・ご家族様の他、地域や各関係者の皆様と関わり合える機会として、開催側もとても刺激になり、私たち自身も勉強になります。

今年度は新たに職員を迎え、いろとりどりの由来でもありますが、より一層、明るく個性豊かな職場になりました。今後お互いの個性を活かしながら、皆様のお役に立てるよう活動していきたいです😊 (山谷)

アメニティ美幌指定居宅介護支援事業所だより『いろとりどり』第2号

発行：アメニティ美幌指定居宅介護支援事業所 発行日：令和5年12月1日

住所：〒092-0004 網走郡美幌町字仲町2丁目38番地の2

電話番号：0152-73-6119 FAX番号：0152-75-2316



